

## 水と暮らした城下町（萩市）

### 藍場川沿いの情緒ある武家屋敷をめぐる

藍場川は、6代藩主の開削した運河で、萩城下の経済や生活において役立ちました。当時の水の利用の様子がわかる旧湯川家屋敷や、内閣総理大臣を3度つとめた桂太郎旧宅が残ります。現在では、鯉が放流され、周辺の風情は萩の中でも印象の深いところです。

#### 1 旧湯川家屋敷

藩政時代の武家屋敷。川の水を屋敷内に引き入れて流水式の池泉庭園を造り、池から出た水を家の中に作られたハトバで家庭用水として使った後川に戻すという藍場川沿いの民家の典型的な水の利用を見ることが出来ます。

開館時間 9:00～17:00  
拝観料100円



##### 1 台所のハトバ

庭園から流れ出た水は、建物の下をくぐって台所のハトバに出てきます。ここで野菜や茶碗を洗った水は、また藍場川に還っていきます。

#### 定点ガイド

ここにはガイドが常駐し、施設の説明を行っています

#### 藍場川

当初は用水路として開削されたが、その後川舟が通航できるように整備・拡張された。下流に藍場（藍色の染料となる藍玉を製造した場所）が出来たために、明治以降いつしか「藍場川」と呼ばれるようになった。現在川には鯉が泳ぎ、川辺にはアジサイや花菖蒲が植えられている。



市内宿泊施設

車で10分程度

旧湯川家屋敷

徒歩2分

桂太郎旧宅

徒歩10分

善福寺

徒歩10分

旧湯川家屋敷

#### 2 桂太郎旧宅

この旧宅は、明治42年に新築したもので、藍場川沿いの生活を穏やかに楽しむために建設されたものです。またこの地は桂太郎が少年時代を過ごした場所でもあります。



開館時間 9:00～17:00  
拝観料100円



##### 2 水琴窟（すいきんくつ）

水をかけると澄んだ音がする

#### 3 善福寺

指月山善福寺は永享年間（1429～40）に指月山麓に創建された臨済宗の寺院で、毛利輝元の萩城築城のため、この地に移されました。大内義隆が当寺に与えた文書を所蔵していますが、萩の地名が記されており、これは萩の地名が書かれた最古の文書といわれています。また、境内には胴にマリア像が彫られたキリシタン灯籠があります。



#### NPO萩観光ガイド協会

ガイド先 : 旧萩市内一円  
申し込み : 3日前  
料金 : 1,000円～2,000円  
連絡先 : 0838-25-3527

※ 掲載情報は、平成23年2月時点です。